令和3年度　　事業報告書　　報徳保育園

1　保育事業：児童の処遇

①　保育活動

〇保育課程に基づき各年齢に応じた指導計画（年間目標、月案指導計画、週・日案指導計画）を作成し、子ども一人ひとりの成長や発達状況を理解・把握しながら保育を行った。

〇小学校との円滑な連携においては、コロナ禍の為、者類や電話でのやり取りを中心に保育の成果が小学校につながるよう、具体的な計画（5歳児）を基に相互理解を深められるよう努めた。（連絡会への参加は小学校と連携しながら参加した。）

※5歳児：11名　4歳児：2名　計13名を卒園させることができた。

〇特別保育事業

・延長保育事業（月～金曜日：18:15～19:15）・・・通常保育時間外

②　安全衛生管理及び環境整備

〇安全管理計画に基づいた毎月の火災訓練を行い、初期消火訓練の強化、職員一人ひとりが保育環境において迅速に対応できる訓練に力を入れた。又、地域と連携し、不審者情報等の提供を行い子ども達や地域の安全管理に尽くした。

〇環境整備として、各保育室や園庭の遊具など毎日の点検を行い、修繕整備が必要な個所を発見した場合、速やかに対処するように心がけた。那覇市の「花とみどり課」に苗の申請を行い、園舎周りの美化に努めた。

③　衛生管理

〇子どもたちの健康や安全面を第一に考え、健康管理計画に基づき、対処マニュアル及び点検簿などを使用して清掃箇所をこまめに点検し、必要に応じ、衛生管理の見直しや改善を行った。調理室は、衛生管理マニュアルに沿った管理（自己点検簿・整備点検等）を行っている。

〇新型コロナウイルス感染拡大防止とし、園児は園庭の手洗い場にて手洗い・うがい・アルコール消毒し、受け入れを行う。各クラス、玩具のふき取りや室内の換気を徹底、安定型次亜塩素酸ナトリウムのパナセアを使用し、定期的に噴霧し、衛生的な環境を心がけた。コロナウイルス情報は、速やかに保護者へ情報提供を行い、周知、注意喚起を徹底した。

④　園児健康管理

〇健康管理に基づき、歯科検診・尿検査（年2回）を行った。今回は新型コロナウイルス感染症の影響の為、定期健康診断は1回実施。3歳児以上はフッ化洗口をおこない、虫歯予防に努めた。

〇給食年間計画に基づき、個々の発達段階に分けて調理を工夫し食事の環境作りや食事指導に配慮した。

2　対外活動

〇地域活動事業・・・近隣の商業施設に作品の提供（母の日・父の日）
〇保育園行事・・・今年は新型コロナウイルス感染予防の為、運動会（10月）は保護者を招いての実施を控え、ホームページでの公開やＤＶＤを作成し、後日配布した。夕涼み会（6月）は中止とし、七夕まつりを園内で園児のみでおこなった。ハロウィンパーティー（11月）を園内でおこない楽しんだ。おゆうぎ会（12月）は、ゆいホールにて、保護者の検温や、消毒、換気をおこない、クラス入れ替え制で開催した。卒園式（3月）は、各世帯2名までの参加や感染対策を徹底しておこなった。

3　令和3年度　　報徳 保育園職員構成

〇正職11名　≪園長1名・主任保育士1名・保育士8名・用務員1名≫
〇非常勤11名≪保育士2名・支援員2名・保育補助2名・調理員3名・栄養士1名・用務員1名≫
〇嘱託医2名
※3月31日現在

4　職員の処遇

〇健康診断、蟯虫検査(年1回)、栄養士、調理員、用務員、０歳児職員検便検査を毎月1回実施した。
※職員の定期健康診断においては費用の一部補助おこなっている。

5　職員研修

〇研修計画に基づき、研修を申し込みを行うが、コロナウイルス感染拡大の為、外部研修の中止が多くなってしまった。オンライン研修にてキャリアアップ研修の受講を行った。又、緊急事態宣言が発令され、職員も交代で自宅待機をさせた際、在宅研修を行い、報告書を提出してもらい、園内研修にて全職員で学び合い、共通理解を図りながら資質向上に努めた。

6　その他

〇新型コロナウイルス感染拡大に伴い、家庭保育の要請や保育の場においても、制限が多く、もどかしい1年となってしまったが、全職員で感染予防を徹底しながら保育環境を整えるよう務めた。常に子ども達の成長発達を促す保育を心がけ、保護者に対しては情報発信の方法を考えながら、保育を進める1年となった。

令和3年度　　事業報告書　　報徳児童クラブ

1　放課後児童クラブ事業：児童の処遇

①　児童クラブ保育活動・主な取り組み

◇事業計画を作成し、「社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立」を基に児童の健全育成を図った。

〇制作（慰霊の日）千羽鶴作成を通し、平和を尊ぶ気持ちをを持つことが出来た。
　作成した千羽鶴は、慰霊の日に合わせて平和記念公園へ寄付した。

〇保育園との行事はコロナ禍の為参加はせず、児童クラブのみでの遠足やイベント、製作物に取り組み楽しむことが出来た。

〇室内遊びを充実させ、おもちゃを子どもたち自ら管理することができた。

〇近隣の公園や広場を散歩しながら探索し、身近な環境や自然等の関わりを知る事ができた。又、昆虫採集をし、みんなで飼育・観察する中で協力すること、命の大切さを学ぶことが出来た。

②　カリキュラム・その他

◇カリキュラム（英語・スイミング・運動遊び）

〇コロナ禍の中で、英語やスイミングが休会を余儀なくされたが、感染防止策を図りながら、落ち着いた環境・体を動かして楽しめる環境を整え、遊びの計画を立て児童クラブでの活動が楽しめるよう心掛けていった。

〇屋外遊びでは、子どもたち同士でチーム分けを行うなど自ら考えて遊びを行うことができた。

2　令和3年度　　児童クラブ職員構成

〇正職１名（補助員）・非正規職員3名（指導員１名・補助員2名）

※3月31日現在

令和３年度　　事業報告書　　童の城 保育園

１　保育事業：児童の処遇

①　保育活動

全体的な計画に基づき各年齢に応じた指導計画(年間目標、月案指導計画、週・日案指導計画)を作成し、子ども一人ひとりの成長や発達状況を理解・把握しながら保育を行った。
それにより、保育目標に基づき、輝組21名を卒園させることができた。
保護者支援の為、以下の事業も併せ行った。

・延長保育事業（月～土曜日：18:15～19:15）…通常保育時間外
・一時預かり事業（幼稚園型：14:00～18:15）…1号認定児
・発達支援保育事業…1歳児クラス1名

小学校との連携では、コロナ禍ということもあり、年度の半ばからの参加になった。連絡会では、就学に向けて、申し送り等も積極的に行った。

②　安全衛生管理及び環境整備

〇安全管理計画に基づき、安全管理に万全を尽くし、日常の保育の中で、子どもたちに安全指導を行った。怪我をした場合は、保護者へ連絡し病院受診をスムーズに行い、その後のケアもしっかり行った。
〇毎月の火災訓練とは別に地震訓練や不審者侵入対策訓練も行った。また、9月1日の防災の日には、3～5歳児を対象に動画での観賞会を行い、子ども達も災害について関心を持ち、日頃の訓練の大切さを感じていた。
〇環境整備として、各保育室や園庭の遊具など、毎日の点検を行い、修繕や整備が必要な箇所を発見した場合、速やかに対処するように心がけた。また、那覇市「花とみどり課」へ6月・10月・2月に花の苗を年間で250鉢申請し、花植えを行ったり、定期的に水槽掃除も行い、園内・外の美化に努めた。

③　衛生管理

子どもたちの健康や安全面を第一に考え、健康管理年間計画に基づき、対処マニュアル及び諸点検簿等を使用して衛生管理を行った。

アルコールを使用して、玩具・絵本の拭き取り、安定型次亜塩素酸ナトリウムのパナセアを時間帯を決め、保育室へ噴霧し、衛生的な環境で保育を行うことができるよう心がけた。

④　園児健康管理

子どもたちの健康管理は、健康管理計画に基づき、定期健康診断(年2回)・歯科検診(年2回)、蟯虫検査(年1回)、尿検査(年2回)を行った。4・５歳児は虫歯予防の為に毎日フッ化物洗口を行った。
給食については、給食年間計画に基づき、個々の発達段階に分けて、調理の工夫や味付けの工夫を行った。また、食事の環境づくりや食事指導に配慮した。

2　対外活動

地域活動事業…自治会でのこいのぼり掲揚での作品出展
地元出身の実習生の受け入れを行った

保育園行事…コロナの状況を踏まえ、衛生管理に気を付け行事を行った
発表会(12月)、輝組和太鼓発表会(3月)

3　令和3年度　　童の城 保育園職員構成

園長1名、主任保育士1名、保育士19名、子育て支援員1名、調理員4名、事務員1名、用務員1名、嘱託医2名

4　職員の処遇

年1回の健康診断、調理・0歳児クラス担任の検便検査(毎月)を行った。

5　職員研修

研修計画に基づき、研修参加希望者を募り、希望者を優先に研修に参加。今年度もオンライン研修が主で、キャリアアップ研修(7・8･10･12･1月)、那覇市や日本保育チームマネジメント協会・日本保育協会等の主催研修会等の研修に参加。また、園内研修も行い、職員全体で知識・技術の習得に努めた。

6　その他

新入園児20名を迎え、103名でスタート。コロナでの特別保育期間もあったが、園児の情緒の安定を図ることができるよう、家庭と密に連携を取り、保育を行っていった。

今年度は「職員の資質向上」をテーマに園内研究を行った。毎月ごとにテーマを決め、「電話の基本対応・心を育むフロアシアター・運動遊び・保護者への分かりやすい伝え方」等を行った。職員間で困ったことや、子ども達への声かけの仕方、工夫方法等を細かく共有することができ、日頃の保育へ生かすことができた。

令和3年度　　事業報告書　　石嶺保育園

1　保育事業：児童の処遇

①　保育活動

〇全体的な計画に基づき各年齢に応じた指導計画（年間目標・月案指導計画・週・日案・指導計画）を作成し、子ども一人ひとりの成長や発達状況を理解・把握しながら保育を行った。
〇小学校との連携においては、コロナ感染症の影響により、書類でのやりとりが中心となったが、後半からは連絡会にも参加し、就学に向けて申し送りを行った。※5歳児14名を卒園させる事ができた。
〇特別保育事業
・延長保育事業（月～土曜日：18：30～19：30）
・発達支援保育事業・・・3歳児クラス3名。
発達支援保育においては、巡回指導を行い、保護者を交えた面談により適切な支援を行う事が出来た。

②　安全衛生管理及び環境整備

〇安全管理計画に基づき、様々な場面を想定しての訓練を行った。子ども達にも友達との遊び方や関わり方等を繰り返し伝え、安全指導を行った。また、地域と連携し、不審者や見守りが必要な住民等の情報も共有し、子ども達や地域の安全管理に尽くした。
〇怪我をした場合は、保護者へ連絡し病院受診をスムーズに行い、その後のケアもしっかり行った。また事故記録簿を記入し、ケガの原因を把握し、危機管理に繋げていった。
〇環境整備として、各保育室や園庭の遊具等の点検を毎日行ったり、那覇市「花とみどり課」に、年に2回花の苗を申請し、園内・園外の美化に務めた。

③　衛生管理

〇健康管理計画に基づき、対処マニュアル及び点検簿を使用して、こまめに掃除や点検をした。調理室では、衛生管理マニュアルに沿った管理（自己点検簿・整備点検等）を行っている。
〇新型コロナウィルス感染症拡大防止対策として、安定型次亜塩素酸ナトリウムのパナセアを定期的に噴霧したり、玩具の拭き取りや保育室内の換気、手洗いなどを徹底し、衛生的な保育環境を心掛けていった。又、感染症が発生した場合には、速やかに保護者にも周知し、注意喚起を促していった。

④　園児健康管理

〇健康管理計画に基づき、定期健診を実施。【内科検診・尿検査（2回）　蟯虫検査（1回）】
虫歯予防においては、3歳児以上は毎日フッ化洗口を行った。
※新型コロナウィルス感染症の影響により、歯科検診は1回の実施となった。
〇登園前の健康観察を家庭へ呼びかけ、園でも定期的に検温や体調確認を行った。また、手洗い、手指消毒にも指導にも力を入れた。
〇給食については、給食年間計画に基づき、個々の発達段階に分けて調理を工夫し、食事の環境作りや食事指導に配慮した。また、毎日の給食メニューや給食便りをコドモンで配信する等、保護者にも関心を持たせることで、家庭での食への関心や理解を深めてもらった。

2　対外活動

〇地域活動事業・・近隣の商業施設、公共施設等に作品の提供（こいのぼり制作・母の日）
〇保育園行事・・・新型コロナウィルス感染症拡大防止の観点より、保護者を招いての実施は控え、内容を制限しながら園内で実施。
・夏祭り（9月）・運動会（10月）・おゆうぎ会（12月）・ミュージックフェスティバル（2月）
※ホームページやYouTubeでの配信、DVD作成を行い、子ども達の成長を伝えた。

3　石嶺職員構成（令和3年度）

・園長1名　・主任保育士1名　・保育士18名　・保育補助1名　・パート職員3名
・事務1名　・調理員6名　・用務員２名
※3月31日現在

4　職員の処遇

〇年1回の定期検診を義務付け、その費用を施設で一部負担し健康維持に心がけている。
※蟯虫検査（年1回）・調理員、0歳児職員検便検査（毎月1回）実施

5　職員研修

研修計画に基づき、研修参加者を募り、希望者を優先して研修に参加。今年度も、外部研修の中止が多かったが、オンライン研修で初任保育士研修やキャリアップ研修を受講した。また、新型コロナウィルス感染症の影響により、職員も交代で自宅待機となった際には、在宅研修に取り組んだ。月に一度は園内研修も行い、知識や技術の習得に務めた。

6　その他

新入園児26名を迎え、133名でスタート。令和3年度も「緊急事態宣言」や「特別保育期間」の実施など、長引くコロナ禍での保育が中心となったが、子ども達の心身を守る対策を常に意識しながら保育を進めていった。園内で行事を実施したり、普段家庭では体験出来ない遊びを計画・実践する事で、子ども達や職員のモチベーションの維持やアップに繋げる事が出来た。
園内研修においては、自園の強みと弱みの分析を行い保育環境を見直す事で、全体のスキルアップに繋がり、一人ひとりの資質向上を目指した。引き続き、子どもの発達の特性や発達過程を再認識し、子ども一人ひとりの発達を丁寧に保障出来る保育実践について学びを深めていく。

令和3年度　　事業報告書　　銘苅こども園

1　保育事業：児童の処遇

①　保育活動

教育・保育計画に基づき各年齢に応じた指導計画(年間目標、月案指導計画、週・日案指導計画)を作成し、子ども一人ひとりの成長や発達状況を理解・把握し、家庭との連携をとりながら教育・保育を行った。夢扉組29名、絆結組30名、計59名の5歳児が教育・保育課程を修了した。保護者支援及び地域の子育て家庭の支援の為、以下の事業も併せ行った。

・延長保育事業（月～土曜日：18:30～19:30）…通常保育時間外
・一時預かり事業（幼稚園型:14:00～18:30）…1号認定児
・特別支援事業…特別支援児：4歳児2名

②　安全衛生管理及び環境整備

学校安全計画に基づき、危機管理・安全管理に万全を尽くし、日常の保育の中で、子どもたちに安全指導を行った。

毎月の火災訓練とは別に地震訓練や不審者侵入対策訓練も行い、子どもたち自身が安全に気をつける事ができるように日頃の教育・保育に取り入れた。次年度にコロナウイルス感染症の影響で出来なかった地震・津波訓練、不審者訓練を小学校と連携し、合同で行う予定をしている。

③　衛生管理

子どもたちの健康や安全面を第一に考え、健康管理年間計画に基づき、対処マニュアル及び諸点検簿等を使用して衛生管理を行った。

園内備品の消毒や清掃、年2回の園舎消毒(害虫駆除)を行い、感染症の予防や清潔を心掛けるようにした。

④　園児健康管理

子どもたちの健康管理は、学校保健計画に基づき、定期健康診断2回・歯科検診を年2回、蟯虫を年1回、尿検査は年2回行っている。

家庭で登園前の検温、健康観察や園での朝・昼・夕方、3回の検温で体調の把握、そして手洗い・手指消毒の指導に力を入れた。手洗い・手指消毒の指導に力をいれたのでインフルエンザが1人も出なかった。

2　対外活動

世代間交流…新型コロナウイルス感染症の影響で出来なかった。
地域活動事業…新型コロナウイルス感染症の影響で出来なかった。
行事…事業（行事）計画に基づき、一年間を通して様々な行事を行う予定だったが中止や縮小して行った。
主な行事として　銘苅運動文化祭（11月）発表会(12月)
和太鼓発表(3月）等

3　令和3年度　　銘苅 こども園職員構成

園長1名、主幹保育教諭1名、副主幹保育教諭1名、保育教諭9名、子育て支援員2名、保育補助2名、事務員1名、看護師1人、嘱託医2名　学校薬剤師1名

4　職員の処遇

年1回の健康診断（7月）

5　職員研修

研修計画や法人研修に基づき、研修参加希望者を募り、希望者を優先に研修に派遣。認定こども園合同研修、特別支援教育研修、那覇市等の主催研修会、オンデマンド研修等　コロナウイルス感染症の影響でオンデマンドに変更や中止になる事が多かった。

6　その他

3歳児20名、4歳児26名、5歳児57名、計103名でスタート。集団生活が初めての園児もおり、園の生活に慣れる事から始めると共に、特に3歳児はトイレトレーニング等基本的生活習慣から始めた。全職員で園児の情報を共有し、子ども一人ひとりの成長発達を考え、目的をもって教育・保育(行事含む)を行った。日々の教育・保育や行事を一つひとつ終えるごとに、子どもたち自身が自信に満ち溢れている姿を見る事ができた。また、小学校就学に向けて、「しっかり話が聞けるように」「自分の意見を言えるように」「諦めずに最後までやり遂げる」を重点に置いて教育・保育を心掛けた。

令和3年度　　事業報告書　　前田こども園

1　保育事業：児童の処遇

①　保育活動

教育・保育計画に基づき各年齢に応じた指導計画(年間目標、月案指導計画、週・日案指導計画)を作成し、子ども一人ひとりの成長や発達状況を理解・把握し、家庭との連携をとりながら教育・保育を行った。陽日組24名、優月組24名、計48名の5歳児が教育・保育課程を修了予定。保護者支援及び地域の子育て家庭の支援の為、以下の事業も併せ行った。

・延長保育事業（月～金曜日：18:15～19:15）…通常保育時間外
・一時預かり事業（幼稚園型:14:15～18:15）…1号認定児
・特別支援事業…特別支援児：4歳児1名　5歳児3名

②　安全衛生管理及び環境整備

学校安全計画に基づき、危機管理・安全管理に万全を尽くし、日常の保育の中で、子どもたちに安全指導を行った。

園児用トイレが、老朽化により、タイルの剥がれや各個室のドアの開閉ができず、手洗い場も高い為、トイレのリフォームを行った。また、給食受室入口に屋根がなく、雨の日の配達に支障をきたしていた為、屋根を取り付けている。

浦添市の遊具点検により、園庭にあるジャングルジム等の固定遊具が使用禁止、撤去を行い、新たに、砂場・鉄棒・雲梯棒の設置をし、園庭の環境整備を行った。

③　衛生管理

子どもたちの健康や安全面を第一に考え、健康管理年間計画に基づき、対処マニュアル及び諸点検簿等を使用して衛生管理を行った。

園内備品の消毒や清掃、年2回の園舎消毒(害虫駆除)を行い、コロナ感染予防にも努めた。

④　園児健康管理

学校保健計画に基づき、定期健康診断（6月までに1回目を行う）・歯科検診を年2回行っている。蟯虫検査は年1回、尿検査は年2回行っている。また、聴力・視力検査は4・5歳児のみ行っている。

家庭で登園前の検温や園での朝・昼・夕方、3回の検温で体調の把握、手洗い・手指消毒の徹底を行ってる。

2　対外活動

今年度もコロナの影響で、対外活動を自粛せざるを得なかった。活動を制限される中でも、子ども達とともに地域探検や散歩を通して、地域の事を知る機会をつくった。

前田小PTAより声をかけてもらい、清掃活動にも参加する事ができている。

3　令和３年度　　前田 こども園職員構成

園長1名、主幹保育教諭1名、副主幹保育教諭1名、保育教諭10名、子育て支援員2名、事務員2名、用務員1人、嘱託医2名　学校薬剤師1名

4　職員の処遇

年1回の健康診断（7月）

5　職員研修

昨年度に比べるとオンライン等の研修が増え、多くの研修に参加する事ができている。主にキャリアアップの研修に参加する職員が多かった。園内研修では、昨年度に引き続き、日々の保育で活用できる手遊びを毎月行った。園内研究では視聴覚教材を使い、『自ら考える子どもを育てよう』をテーマに1年間、全クラス取り組んでいる。絵本の読み聞かせを通して、相手の気持ちを考えたり、助けたりする行動が増え、自信を持って、自分の気持ちを言える子が増えてきた。

6　その他

3歳児14名、4歳児27名、5歳児45名、計86名でスタート。

昨年度同様、4月当初は、並ぶことができず、その場に寝そべる子や人の話が聞けない子、返事ができない子がほとんどであった。コロナで家庭保育の要請も続き、行事の延期や中止も余儀なくされたが、日々の活動や行事を通して子ども達が成長できるよう考え、保護者にも子ども達の成長を伝える事ができるよう努力した。

子ども達はこの1年で大きく成長し、たたずまい教育や絵本の読み聞かせ等に重点を置くことで、姿勢（立つ・座る）・話を聞くことができるようになってきた。また、返事をすることもできるようになっている。特に5歳児は頼もしさを感じられる。

令和3年度　　事業報告書　　さくらんぼ 保育園

1　保育事業：児童の処遇

①　保育活動

保育過程に基づき各年齢に応じた指導計画（年間目標、月案指導計画、週・日案指導計画）を作成し、子ども一人ひとりの成長や発達状況を理解・把握しながら保育を行った。4歳児7名修了、5歳児17名卒園させることができた。

・小学校との連携においては、コロナ感染予防や状況を確認しながら会議に参加し、申し送り等を積極的に行った。

◎障がい児保育：令和3年度　5歳児1名　4歳児2名

年５回の巡回指導を行い臨床心理士、保育士、保護者との三者面談を行い適切な支援援助を行うことができた。

②　安全衛生管理及び環境整備

・安全管理計画に基づき安全管理に万全を尽くし、子どもたちへの安全指導を行った。又危機管理マニュアルを見直し、毎月の避難訓練と様々な場面を想定しての訓練を行った(熱中症訓練、熱性けいれん、骨折訓練、不審者訓練等)

・怪我をした場合は保護者への連絡、病院受診を行いながらその後のケアを行う(令和3年度病院受診の怪我1件)

・環境整備として、日々の点検を行いながら遊具・建物点検簿を使用し、修繕個所を見つけたら速やかに対処するよう心掛けた。

・子ども達にも友達との関わり方・遊び方等を伝え安全に配慮した。

・新型コロナウイルス感染予防に対するマニュアルを作成し職員、園児の健康管理を行う

③　衛生管理

・衛生管理計画に基づき、調理室･調理員の日々の衛生管理を自主点検棒で管理している。

・室内の換気、手洗いを行い、安定型次亜塩素酸ナトリウムパナセアを使用し玩具、保育室等こまめに噴霧し、衛生的な環境を意識して取り組んだ。

・食事は2歳児よりパーテーションを使用に、食事中の飛沫防止に注意を払った。

④　園児健康管理

・新型コロナウイルスの影響で、歯科検診・内科健診は予定変更もあったが、年2回実施する事が出来た

・尿、ぎょう虫検査は２回行った。

･手洗い、手指の消毒をこまめに行い、3歳児以上はマスク着用を心掛けた。

・登園前の健康観察、検温をお願いし、園では定期的に検温や体調把握を行った。

・給食については給食年間計画に基づき、個々の発達段階に分けて調理を工夫し楽しく食事が出来るよう配慮した（行事食の盛り付け等）

2　対外活動

・保育園行事・・・・新型コロナウイルス感染により対外活動は自粛となったが、
内容を制限しながら子ども達の成長を伝える機会を作った。　・運動会（１１月）　・発表会（１２月）・ミュージックフェスティバル（２月）　・地域活動事業・・・西原町社会福祉センターこいのぼり掲揚の作品提供　東部消防へ消防車の絵を提供。11月には消防署見学を行なった。

3　令和３年度　保育園職員構成

・園長１名　・主任保育士１名　・保育士15名　・非常勤保育４名
・保育補助３名　・調理員4名　・非常勤講師１名　・事務員１名
・嘱託医２名

4　職員の処遇

・年１回の定期健診を行い、検診費用を施設で一部負担し職員の健康維持を行っている。
・調理員は毎月検便検査を行った。

5　職員研修

・オンラインでキャリアアップ研修、調理員研修、保育研究発表会研修等を受講した。
・園内研修では学びたいテーマを取り上げ全体のスキルアップを目指した。
（病気･ケガ･応急手当/音楽/遊び/危機管理/アレルギー対応等）

6　その他

・コロナウイルス感染症予防に努めながら、園児の情緒の安定を図りながら、家庭と密に連携をとり保育を行なった。保育ICTアプリも取り入れ進めていった。保護者に普段の園での様子を伝えるためDVDを作成し配布した。5歳児を中心に豆腐作り、羽釜を使ってお米を炊いたり、ピザ窯でピザ作り、餅つき等初めての体験を行う事も出来た。

令和3年度　　事業報告書　　さくらんぼ 学童園

1　学童事業：児童の処遇

①　学童保育活動・主な取り組み

◇事業計画を作成し、「社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立」を基に児童の健全育成を図 り、気になる子へはサポートプランを作成し個々にあった支援を行った。

・製作活動ー（母の日・父の日）感謝の気持ちを込めて作った。
紅型体験「干支子」郷土の文化を体験、来年の干支の図柄で型染した。

・クッキングー（ピザ、スイーツ作り等）
季節や伝統を感じながら楽しくいただくことが出来た。
感染予防し少人数でのグループで行った。
ピザ窯を使用し、上級生を中心に行い美味しく頂いた。

・異年齢児交流ー（ドッヂボール大会・学童まつり）
ドッジボールは他学童との交流は出来なかったが、学童祭りは感染予防を徹底し1団体との交流を図る事が出来た。

②　カリキュラム・その他

◇スイミングを通して、自身の得意を深め目標達成することが出来た。

◇交通安全指導をはじめ、防災訓練等月一度の避難訓練を通し安全に身を守る方法を意識させる事が出来た。

◇救急法「日常の怪我・感染症」応急処置や救護を身に付けることが出来た。
手洗い（手指消毒）・うがい、マスク着用の必要性を活動の前などに話し合った。

◇６月に平和学習を行い慰霊の日に寄せて、図書、パネル展、映写会を開催し平和について考える事が出来た。
※コロナウイルス感染症の影響で計画的な活動は出来なかったが、出来る範囲の中で意見を出し合い学童の時間を楽しむことが出来た。